

あっという間に2月となりました！

つい先日新学期が始まったと思っていたら、もう2月の半ば。

カレンダーで今年度の残りの登校日数を数えなおしてみたら、在校生は31日間。卒業生に至っては27日間しかありませんでした。

1月（行く月）以上に、2月（逃げる月）・3月（去る月）は早足で駆け抜けていきます。学年としての仕上げやまとめを丁寧に行っていくとともに、進級（進学）への心構えというものをしっかりと持たせていきたいと思います。

インフルエンザの感染に注意！

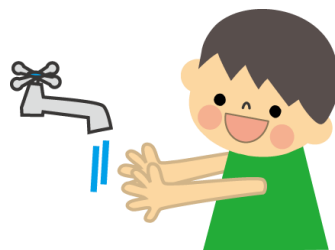
すでに緊急メールでお知らせしてありますように、本校でも集団風邪による学級閉鎖が発生しました。お子様の体調管理には、十分ご注意願います。

先日通勤の途中にラジオを聞いていたら、インフルエンザの感染についての話をしていました。その内容によると、インフルエンザ感染については飛沫感染や空気感染が多いように思われがちだが、80%～90%は接触感染であるとの話でした。

つまり、空気中のウイルスに感染するよりも、直接手で触れたものにウイルスが付着していて、それを体内に取り込んで感染する確率の方が断然高いということです。

部屋の換気はもちろん大切ですが、こまめな手洗い・うがいが何より重要だということです。

また、休み中の感染が目立ちます。不要な人ごみへの外出は避けるようお願いします。



【マスクの着用について】

インフルエンザが流行している間、本校では以下のような対応を行いますのでご理解ご協力をよろしくお願いします。

○指導について

- ・教職員もマスクを着用する。
- ・学校の状況を児童に伝え、マスクの着用を促す。（強制はしない。）
- ・体育や遊ぶ際など、呼吸がしづらくなる場合にはマスクを外すよう指導する。

○全員にマスクを着用させる場合

- ・学級内でインフルエンザによる欠席者が出た場合。
- ・集会や校外学習など、一堂に集まったり人ごみで出かけたりする場合

子どもたちの登下校時の交通マナーが気になります

私が人に「本校児童に最も改めてほしいところは？」と問われたならば、きっと「登下校時の交通マナーをよくしてほしい」と返答すると思います。

とくに、学校の南と西にある点滅信号機から学校までの間のマナーが悪く、地域の方から「道いっぱい広がって歩いている。」「クラクションを鳴らしても、一向にのいかない。」「水筒や傘を振り回しながら歩いていて、危なくてしょうがない。」といった苦情がときどき寄せられることがあります。



その都度、学級で指導を行ったり職員が登下校のようすを見守ったりするといった対応を取ってきてはいますが、なかなか改善するまでには至っていません。

ご家庭でも、交通マナーについてお話ししていただく機会を持っていただけるとありがたいです。

がん 雁の群れの秘密

冬を越すために南に向かう雁の群れの話聞いて、すごいなって、感心したことを紹介します。

南に向かう雁の群れがV字型の編隊を組んで写真のように飛んで行くのだそうです。なぜだかご存知ですか？

なんと、V字編隊で飛ぶと、一羽で飛ぶよりも7割も遠くまで飛べるらしいのです。前の雁が羽ばたくと、後続のために、上昇気流を作り出すことができるので、後続の雁は楽に飛ぶことができるのです。

後ろの雁は、ガーガー鳴いて前の雁を励まします。先頭の雁は疲れると、最後尾に回って別の雁と交代します。V字編隊から脱落しそうになっても、一羽で飛ぶと抵抗が大きいので、すぐに編隊に戻ってきます。

群れの一羽が病気やケガで脱落すると、二羽の雁が助けるために、付き添って地上に降りてきます。

この二羽は、脱落した雁が回復するか、死ぬまで一緒にいて、その後、新しい群れに加わるか、独自の編隊を作って元のグループに追いついていくんです。これってすごくないですか！？

仲間同士、助け合って飛ぶことによって大きな力を作り出し、一羽では考えられないくらい遠くまで飛んでいくことができるんです。人間と一緒にですね！ いや、それ以上かも・・・？

同じ志を持ち、同じ目標に向かって一緒に進む人がいると、信じられないくらいのパワーを発揮できるんですね。「1+1」が「5」にも「10」にもなるんです。

「雁の群れの秘密」は、子どもたちが毎朝行っている集団登校にもつながる話ではないかと思い、掲載いたしました。

